



**準備したい3621万円
安全性は重視するが、徐々にリスクテイクの覚悟**

ミドル世代の主婦(40歳から61歳まで)に、まず老後の暮らし方の好みを尋ねた。「子供たちと暮らす」より「夫婦二人で暮らす」、「自然の豊かなところで暮らす」よりは「市街地の便利なところで暮らす」、「地域での交流に時間を割く」よりは「趣味に時間を割く」が圧倒的に多い。夫婦で都会の恩恵を享受しながら、趣味に生きる生活がイメージされている。

老後の暮らしのために準備する資金は、平均すると3621万円。50歳を超えると、4031万円に跳ねあがる。

今、老後資金作りをしているのかといえば、52%が着手。加齢とともに資産形成に動き、50代でローンのない家では、78%が資金作りをしていた。

資金作りに当たって重視することは、安全性がトップであるのは従来と同じだが、「リスクのバランスをとって分散する」も22%ある。

**今後は預貯金、個人年金保険
50代は株式に傾斜**

今後の資産形成方法は、預貯金、個人年金保険、株式の順。アパート等の経営、国債は10%前後だった。まず安全性を確保し、次に収益性を考えるという意識が表れている。それでも50歳の峠にかかるると、残された時間の短さから、財形貯蓄、積立型保険の率はぐっと減少し、代わりに株式が浮上する。不安にかられながらもリスクテイクの覚悟がうかがえ、自己責任の時代がいよいよスタートした。

**情報収集 1位は新聞
位置付け低い金融機関担当者**

情報源は新聞が筆頭、以下金融機関のパンフレット、雑誌、テレビ、家族・親戚、友人・知人の順。金融機関の担当者は2割弱。顧客になるはずのミセスたちは、パンフレットは読むが、担当者の説明をあまり歓迎していない。

調査概要

リビング新聞の保有するモニターへ、2002年4月4日、FAXでアンケート450通送付、357通回収の中から、300通を抽出、集計

年齢構成 40~49歳56.7%、50~61歳43.3%

職業 主婦専業45.1%、パートタイム勤務36.5%、フルタイム勤務6.4%、自由・自営8.7%、在宅勤務3.3%

住所 東京都39.0%、神奈川県30.7%、千葉県24.3%、埼玉県5.0%

今後の資金作りの方法・上位10項目(%)
複数回答

N=289



リビングくらしHOW研究所 女性の意識と行動を分析・研究する、リビング新聞グループのマーケティングカンパニーです。あらゆる消費の中心に存在する女性生活者と、より深く、効果的なコミュニケーションを実現するための情報を発信しています。

ウェブサイト <http://www.kurashihow.co.jp>

【問い合わせ】 TEL03-5216-9420 FAX03-5216-9430



< 調査項目 >

1. 老後の暮らし方について考えるか
(年齢別)(有 / 無職主婦別)(資金作りの有無別)(ローンの有無別)
2. 希望の暮らし方(家族・夫婦2人で暮らす / 子供たちと暮らす)
(年齢別)(有 / 無職主婦別)(資金作りの有無別)(ローンの有無別)
3. 希望の暮らし方(場所・市街地 / 自然の豊かなところ / 海外) (年齢別)(有 / 無職主婦別)(資金作りの有無別)(ローンの有無別)
4. 希望の暮らし方(時間・地域交流 / 趣味 / ボランティア) (年齢別)(有 / 無職主婦別)(資金作りの有無別)(ローンの有無別)
5. 必要だと思う老後資金 (年齢別)(有 / 無職主婦別)(資金作りの有無別)(ローンの有無別)
6. 今資金作りをしているか (年齢別)(有 / 無職主婦別)(資金作りの有無別)(ローンの有無別)
7. 年金不足分のまかない方
(年齢別)(有 / 無職主婦別)(資金作りの有無別)(ローンの有無別)
8. 今後の資金作りの方法 (年齢別)(有 / 無職主婦別)(資金作りの有無別)(ローンの有無別)
9. 今一番関心のある金融商品
(年齢別)(有 / 無職主婦別)(資金作りの有無別)(ローンの有無別)
10. 資金作りで重視していること
(年齢別)(有 / 無職主婦別)(資金作りの有無別)(ローンの有無別)
11. 資金作りの情報媒体
(年齢別)(有 / 無職主婦別)(資金作りの有無別)(ローンの有無別)
12. 専門家のアドバイスを受けたいか
(年齢別)(有 / 無職主婦別)(資金作りの有無別)(ローンの有無別)
13. 専門家のアドバイスを受けたくない理由
(年齢別)(有 / 無職主婦別)(資金作りの有無別)(ローンの有無別)
14. 資金作りでの不安点 (年齢別)(有 / 無職主婦別)(資金作りの有無別)(ローンの有無別)

リビングくらしHOW研究所 女性の意識と行動を分析・研究する、リビング新聞グループのマーケティングカンパニーです。あらゆる消費の中心に存在する女性生活者と、より深く、効果的なコミュニケーションを実現するための情報を発信しています。

ウェブサイト <http://www.kurashihow.co.jp>

【問い合わせ】 TEL03-5216-9420 FAX03-5216-9430